

群馬県の地盤沈下まとめ冊子の作成について

R4.8.30 群馬県環境保全課

これまでの経緯と現状

H30年度

- ・佐藤座長から群馬県が取り組んできた地盤沈下対策等をまとめた冊子作成の提案
- ・環境保全課が執筆可能な部分から執筆を開始することを決定

～R4年度（現在）

- ・環境保全課で部分的に執筆
- ・技術的、専門知識的に懇談会に報告するには難しい段階であるため、令和4年3月11日付構成員の皆様へ執筆協力を依頼

協議内容

①執筆依頼

- ・技術的、専門的な知識が必要であるため以下の章は構成員の先生方に執筆を依頼したい（詳細は別紙）。

第1章 群馬県の地形・地質・水文

第3章 広域地下水資源利用とそのマネージメント

- ・第2章 群馬県の地下水利用と広域地盤沈下の経緯と現状は、これまでの群馬県地盤沈下調査研究委員会において報告した内容を環境保全課でまとめる。

②冊子の作成元について

令和4年4月1日に施行された「附属機関等の設置及び運営指針」により、懇談会等は外部有識者の意見を聴くために設置するものであり、報告書等を作成することができないため、構成員の方々に執筆いただいた原稿をとりまとめ、冊子の作成元は当課とする。

骨子は以下のとおりとしたい

○はじめに

【佐藤座長執筆済】

○第1章 群馬県の地形・地質・水文

【佐藤座長、委員 図表写真込 15 ページ】

梗概

第1節 群馬県の地形・地質

(1) 位置・地形

- ・関東平野における群馬県の位置や地形について、成り立ちや特色を記載

(2) 地質

- ・関東平野の地質の概要と群馬県の地表及び地下の地質について記載
- ・地質柱状図や現地調査で得られた写真についても活用

第2節 群馬県の水文環境

(1) 気象

- ・群馬県の気象（気温、降水量）について記載

(2) 河川・地下水の概況

- ・群馬県の河川及び地下水の流れについて記載

参考文献・資料

○第2章 群馬県の地下水利用と広域地盤沈下の経緯と現状

【環境保全課 図表等込 30 ページ】

梗概

第1節 県内の地下水利用

(1) 条例による地盤の沈下に関する規制

- ・「群馬県の生活環境を保全する条例」による地盤の沈下に関する規制の概要について記載及び委員会活動のあらまし

(2) 地下水採取量の経年変化

- ・地域別及び用途別の地下水採取量の経年変化について記載

第2節 群馬県の観測井による観測結果

(1) 観測井による観測体制

- ・観測井による地下水位及び地盤変動量観測の概要について記載

(2) 地下水位と地盤沈下変動量の経年変化

- ・地下水位と地盤沈下変動量の経年変化について記載

第3節 県内の水準測量による測定結果

(1) 水準測量

- ・水準測量及び水準点の概要
- ・調査結果

（２）地盤変動量の経年変化 ・地盤変動量の現状と推移・動向 参考文献・資料
○第３章 広域地下水資源利用とそのマネジメント 【委員 図表込 15 ページ】 梗概 第１節 適正な広域地下水資源利用とは （１）対象地下水盆の水収支の適正化 （２）水資源採取に伴う地下水障害の防止策 ・揚水井の適正配置、深度、揚水量、揚水の仕方 第２節※ 広域地下水利用のガイドラインの作成とその実践方法（案） 第３節 地下水・地盤沈下の監視の合理化 参考文献・資料 総括：佐藤座長
巻末参考資料 国の要綱、内閣官房（水基本法）

※第３章第２節 記載内容については協議が必要なため未定

群馬県の地盤沈下まとめ冊子執筆要領

1 冊子作成の目的

群馬県の地質、地下水、地盤沈下の実態について把握し、今後の地盤沈下対策に活用することを目的とする。

2 原稿の体裁

(1) 用紙サイズ

A 4

(2) 1 ページ当たりの字数と余白

字数：4 2 字 4 0 行

余白：上 2 5 mm、下 2 5 mm、左 1 5 mm、右 2 0 mm

(3) 文書作成に係るプログラム

MicrosoftWord

(4) フォント

MS 明朝

(5) フォントサイズ

大見出し：1 3 細字

中見出し：1 2 太字

小見出し：10.5 太字

本文：10.5 太字

(6) 見出し符号

第 1 章 → 第 1 節 → (1) → ア → (ア)

(7) 英数字

数字は 1 桁は全角、2 桁以上は半角で記載する。

例：令和 4 年 10 月 1 日 100%

英字は半角で記載する（ただし、固有名詞で全角の場合は除く）。

(8) ページ数（目安）

別紙分担表のとおり。

(9) 表現

専門的知識を持たない方が内容を理解できるよう、なるべく平易な文章でお願いいたします。

事項名	ページ数目安 (図表含む)	担当
はじめに		佐藤座長
第1章 群馬県の地形・地質・水文		
梗概		
第1節 群馬県の地形・地質		
(1)	位置・地形	
(2)	地質	
第2節 群馬県の水文環境		
(1)	気象	
(2)	河川・地下水の概況	
第2章 群馬県の地下水利用と広域地盤沈下の経緯と現状		
梗概		環境保全課
第1節 県内の地下水利用		
(1)	条例による地盤の沈下に関する規制	環境保全課
(2)	地下水採取量の経年変化	環境保全課
第2節 群馬県の観測井による観測結果		
(1)	観測井による観測体制	環境保全課
(2)	地下水位と地盤沈下変動量の経年変化	環境保全課
第3節 県内の水準測量による測定結果		
(1)	水準測量	環境保全課
(2)	地盤変動量の経年変化	環境保全課
第3章 広域地下水資源利用とそのマネジメント		
梗概		
第1節 適正な広域地下水資源利用とは		
(1)	対象地下水盆の水収支の適正化	
(2)	水資源採取に伴う地下水障害の防止策	
第2節 広域地下水利用のガイドラインの作成とそれの実践方法 (案)		
第3節 地下水・地盤沈下の監視の合理化		
総括		佐藤座長